



卒業生によるボランティア活動グループわ会報

情報ぎやらり

第50号

発行日 2010年4月23日
編集 グループ“わ”広報部
発行者 加藤 勇治
発行元 NPO法人社会還元センター
グループ“わ”
TEL (078) 743-8101 FAX (078) 743-3830
Eメール wa_gallery@wa-net.jp
ホームページ http://www.wa-net.jp

【グループわ表彰制度発足】

第1回優秀会員・優秀グループの表彰者決定

理事長 美工10期 加藤 勇治

“わ”は市内有数のボランティア団体として各方面から熱い期待が寄せられ注目される存在になりました。これも“わ”の事業運営を支えてこられた諸先輩方の努力の賜であることは間違いありませんが、長年に亘り地道にボランティア活動を実践し優れた功績を残してこられた個人会員やボランティアグループの存在は無視できません。

いわば“わ”の牽引車というべき功績のあった優秀会員や優秀グループを毎年定期的に（定期総会時に）称える「表彰制度」が本年度からスタート致しました。以下、表彰制度の内容と第1回表彰者（優秀会員5名と優秀グループ2団体）を紹介します。

1. グループわの表彰制度について

(1) 表彰の目的

日頃「再び学んで他のために」を実践している会員およびボランティアグループの中から、長年に亘り他の範となる活動を続け実績を残す優秀会員および優秀グループを表彰し、その優れた活動ぶりを広く会員に紹介して、今後の取組みの目標にしたいとたくことにあります。

(2) 表彰規程について

平成22年2月に表彰規程を制定し、表彰（普通表彰）を次のとおり定めています。

① 表彰の対象となる会員及び団体

・ 個人の場合はグループの活動等を率先して行い、且つ他の範となる活動成果を挙げ功績のあった者で、その活動年数が7年以上であること。

・ 団体の場合はグループわの活動に貢献し、且つボランティア活動の意識啓発および推進に功績のあった団体でその活動年数が5年以上であること。

・ なお、過去に表彰を受けた個人および団体は原則として受賞後10年間は同一の表彰区分での表彰は行わない。

② 候補者の推薦

毎年度、会員、運営委員、登録されたボランティアグループの代表が推薦するものとする。原則として個人候補者を1名、グループ候補者を1団体とする。

③ 被表彰者の決定

別に定める表彰基準に従い運営委員会で審査し理事会で決定する。

今回（第1回平成22年度）の表彰基準では所定の方法で推薦のあった候補会員および候補グループの中から優秀会員5名、優秀グループ2団体を表彰することになりました。
(次頁へ続く)

一人でも多くの参加で総会を盛り上げよう

平成22年度 グループわ 定期総会

開催日；5月20日(木) 場所：シルバーカレッジホール

第1部：定期総会 10：00～11：20

第2部：表彰式・活動紹介 11：30～12：20

昼食（総会出席者には、お弁当を支給します）

映画会「ディア ドクター」 13：10～15：20

なお総会の議案書と出欠はがき（兼・委任状）を同封します。
皆様のご出席をお待ちしています。

(前頁より続く)

④表彰の実施

毎年度グループわの定期総会において、表彰は表彰状と記念品を授与することにより行う。

2. 第1回表彰制度優秀会員・優秀グループ選考結果について

(1) 優秀会員・グループの推薦、選考状況

各方面から多くの推薦が寄せられ、優秀会員の部で10名、優秀グループの部で6団体の推薦がありました。いずれも甲乙付け難い活動ぶりで、他の範となる活動成果を挙げられています。3月26日の運営委員会において優秀会員の部と優秀グループの部に分け、慎重審査を行い、投票により優秀会員5名、優秀グループ2団体を選出しました。投票結果を付して、4月6日の理事会に諮った結果、次のとおり被表彰者を決定いたしました。

(2) 選考結果

① 優秀会員の部

木原 愛子 (福祉・1期)

谷口 博 (生環・4期)

空閑 義郎 (福祉・3期)

藤井 潤子 (音文・5期)

釜田 弘 (国際・3期)

② 優秀グループの部

須磨海岸清掃グループ

(代表 梅谷正芳)

有馬観光ガイドボランティア

グループ (代表 横山忠明)

(3) 表彰式と受賞者活動紹介

今回(第1回平成22年度)の表彰式と受賞者(会員および団体)紹介は次のとおり執り行われます。

.実施日と場所:平成22年度5月20日(木)

総会直後 於KSCカレッジホール

.表彰式・受賞者紹介の時間

11:20 定期総会終了

11:30 表彰式(表彰状・記念品贈呈)

11:40 受賞者(優秀会員および優秀団体)活動紹介

12:20 終了

表彰優秀会員の活動紹介

木原 愛子 (福祉・1期)

推薦者 木下 完治

活動内容;長年に亘りグループ仲間と毎月1回定期的に福祉施設等を訪問、日本文化の伝承を中心とした慰問激励のボランティア活動を継続実施してきた。

主な活動先;ロングステージ灘、真愛ホーム、老人会、福祉センター、青陽東養護学校(対象人員50~200名)

活動のあゆみ;

ロングステージ灘:折り紙 H10年、20年 年間11回

真愛ホーム;俳句あそび H12年~H18年 年間11回

老人会・福祉センター;小噺 H14年~21年 年間8回

しあわせの村;折り染め H10年~21年 年間4回

青陽東養護学校;図工授業補助 H21年~年間3回

推薦理由;H10年から12年間の長きに亘り、地道に日本伝統文化の伝承を中心に対象者に適した優しい活動を続けてこられた点は高く評価される。仲間のサポートを行うとともに毎年上記以外にも適宜スポット的なボランティアにも協力して成果を残している。

空閑 義郎 (福祉・3期)

推薦者 森田 明朝

活動内容;KSC入学以来KSCマジッククラブ、KSCマジック同好会ほか4ヶ所の高齢者団体、学校で14年間に亘り専任講師として後輩指導育成に尽くして来た。一方クラブ員とともに、個人として年間20~30回のボランティア活動を継続中である。

主な活動先;

[講師活動先] KSCマジッククラブ、KSCマジック同好会(計95名)、日本セカンドライフ協会、阪神シニアカレッジ、神戸老眼大学、西宮宮水学園(計135名)

(前頁より続く)

[ボランティア先]老人施設、学校、地域イベント先等多数。

活動のあゆみ；

昭和32年関西草分けのマジッククラブ神戸スウィングスクラブ入会。

H.8年 神戸いきいきクラブ入会、KSC入学、活動開始。

H.9年 4月KOBEマナビストネットの市民講師として年7～8回ボランティア。6月KSCマジック同好会を立ち上げる。

以来現在に至るまで講師活動とボランティア活動を献身的に実践中。

推薦理由；創部以来実に14年間に亘り、

100名を超えるマジックボランティア活動家を育成輩出し、指導を受けたクラブ員が各地、各所で年間平均70回程ボランティア活動を実践している。この功績は頗る大きく、14年に亘る無私の献身的取組みは称賛に値する。H17年ダイハツ工業(株)から、OBとして地域活動に貢献したことで表彰されている。

釜田 弘 (国際・3期)

推薦者 寄藤 忠彦

活動内容；介護保険福祉施設(エルダービレッジグループホーム等)に仲間4～5名とともに毎月第3木曜日に慰問を続けている。歌詞カードと伴奏テープを作成し入所者と一緒に歌うコーナー以外に、ゲームや手品などで雰囲気盛り上げている。
主な活動先；介護保険福祉施設“エルダービレッジグループホーム”

活動のあゆみ；

H.11年 コーロKSCから特別老人ホーム“友が丘YUAI”に慰問訪問。

H.12年 エルダ-ビレッジとパ-マリソへスポット的な慰問活動実施。

H.13年 エルダ-ビレッジとパ-マリソへ毎月定期慰問活動開始、現在に至る。

推薦理由；H.11年から11年の長きに亘り、地道に活動を続け、誠実で創意工夫を凝らしたボランティア活動は高く評価される。H.13年からエルダ-ビレッジのグループ

ホームへコーロ団員数名と共に毎月訪問されている。一緒に歌うだけでなく手品、ゲームなど毎回創意工夫をし、笑顔を絶やさず入所者に接しておられる。長年の献身的な取組みは合唱団員の模範となっている。

谷口 博 (生環・4期)

推薦者 松本 義彦

活動内容；しあわせの村内 里山の再生および保全活動を実践するとともにKSC学生はじめ子どもを中心とした一般市民対象に“自然とのふれあい”等環境教育に率先して取り組んでいる。

活動のあゆみ；H.11年に当時シルバーカレッジ北側の自然林(雑木林)を仲間とともに里山に整備しグループ学習活動を開始した。翌年里山グループを結成し以来今日までグループの責任者として11年間活動の中心的役割を果たして来た。現在では多くの野鳥を観察することが出来、四季折々に野草を楽しめる里山となり、格好の“環境教育の場”になっている。

推薦理由；約12年の長きに亘り里山の保全整備活動を中心的立場で取組み、多くの市民に親しまれる自然豊かな里山を維持してきた。また生環コースの学生達や子ども達など一般市民に格好の環境教育の場を提供するなど、環境教育面での貢献度は顕著である。谷口氏はH13年12月里山グループ代表として神戸市環境功労賞を受賞されている。

藤井 潤子(音文・5期)

推薦者 長谷川 博

活動内容；KSC卒業直後東灘区会に副区会長として入会后、長年に亘り副区会長、区会長として区会運営に取り組んだ。その間ボランティア先を開拓し、地域に密着したボランティア活動を実践して区会の活性化に努めてきた。

主な活動先；サンライフ魚崎、ロングステージこうべ岡本、遊喜幼稚園

活動のあゆみ；

(前頁より続く)

H.13年4月 区会副会長就任、区会長の区会運営補佐

H.14年4月 区会長就任、ボランティア先開拓、ボランティア実践

H.16年4月 区会副会長就任、活動先開拓とボランティア活動実践(以降H20年度末まで区会運営とボランティア実践を継続)

H.21年4月以降区会副会長退任、引き続きボランティア活動継続中。

推薦理由; ボランティア訪問実績は上記3ヶ所のみであるが、KSC卒業後9年間の長きに亘り区会会員にボランティア活動への関心を高め、区会を取りまとめ活性化に努めた功績は大きく、後輩にとり見習うべきもの多大である。

表彰優秀グループの活動紹介

須磨海岸清掃グループ(代表 梅谷正芳)

推薦者 須磨区会長 細野恵久

活動内容; 阪神間を代表する海水浴場の須磨海岸にはシーズン中百万人を超える人出があり、ゴミ対策は行政にとって切実な問題である。本グループは、景観上重要でありながら手が行き届きにくい国民宿舎シーパル須磨付近の砂浜を中心に、ゴミを取り除く活動をH.11年以来続けている。

主な活動場所; シーパル須磨赤燈台から東側約300m四方、監視員詰所までの一帯。

活動のあゆみ;

H.11年は“わ”設立3年目、地域密着型への組織改編1年目に当たる。この年須磨地域代表に就いた梅谷正芳氏が地域貢献を呼び掛けてこの活動がスタートした。梅谷氏はそれ以来今日までリーダーとして関係先との調整やメンバーへのきめ細かい心配りなど活動の定着に尽くされた。メンバーの中には活動スタート時からの参加者もいるが、年々参加と脱会が繰り返され、人数は必ずしも安定していない。

H.11年~21年度の11年間 合計活動日

数 136日、(年平均12日)

同 合計延べ活動人員1159名(年平均106名)

推薦理由; 行政(市みなと総局みなと振興部)や周辺施設の理解と協力を得ていることは地域活動のモデルとして推薦に値する。活動時期は最も暑い時期と重なっており、高齢者にとって決して楽でない。メンバーの大半は須磨海岸から離れた北須磨地区居住者で往復に要する時間と経費負担も少なくない。こうした困難な条件がありながらグループ全員が強い使命感と連帯感をもって毎シーズン乗り切っている。マスコミもこの活動を好意的に紹介している。(H.11年8月3日神戸新聞記事掲載)

有馬観光ガイドボランティアG(代表 横山忠明) 推薦者 大坪 英二

活動内容; H.11年から11年間に亘り、有馬温泉総合観光案内所前(H.17年までは「太閤の湯殿館」前)でグループメンバーが当番で観光客対象に温泉内観光名所の案内ガイドを実施している。H.19年から予め申し出のあった団体客に対して歩いて観光要所を回り案内ガイドする「まち歩きガイド」も併せ実施している。

活動のあゆみ;

H.11年11月 「太閤の湯殿館」開設時神戸市観光交流課が震災復興の目玉として旅行者向けに観光ガイドを配備して温泉街活性化を図るためにグループわにガイドの派遣依頼があり、活動がスタートした。

H.16年6月 有馬温泉総合案内所前でのガイド(当番制)に変更

H.16年4月 「歴史と泉源」に関するガイド用教材をまとめ、人材育成を図る。(H.19年4月まで)

H.19年4月 有馬観光まち歩きガイド実施(H.21年度総合観光案内所前ガイド年間実績 対象者合計22,500名)(H.21年度有馬観光まち歩きガイド年間実績 対象者合計 1,800名)

(次頁へ続く)

(前頁より続く)

推薦理由;現在、有馬温泉では観光案内所前ガイドとまち歩きガイドが名物となり温泉の復興と活性化に大きく貢献しており、有馬温泉観光協会からは有馬には欠くことが出来ないものと高く評価されている。また、多くの観光客からは有馬に来てよかったとの評価を得ている。当グループの活動については次のとおりマスコミ等でも取り上げられている。

新聞取材;

H16.5.1. 神戸新聞、
H20.6.5. 神戸新聞ポイスール、
H20.11.22 産経リビング

テレビ取材

中京TV,サンTV,テレビ大阪、三重TV
ラジオ取材 ラジオ大阪、ラジオ関西

1. 組織活性化問題への取組み

【企画委員会】取組み結果報告

企画担当理事 国際11期 長谷川 洸士

部会活性化問題と区会活性化問題が懸案事項であったが、本年度は「区会活性化対策」が急務であることから、区会活性化問題に絞ってプロジェクトチーム「区会活性化推進委員会」を組織し、集中審議を重ねた。区会活性化推進委員会報告の項参照。

2. 諸制度(取扱)、諸施策の見直しの取組み

- (1) 定期総会対策
 - ① 総会運営上の問題点とその対策検討、具体化(8月、1~3月)
 - ② 総会の第2部の運営上の問題点とその対策検討、具体化(8月、1~3月)
- (2) ロゴマークの取扱要領の検討、新規制定(5月~6月)
- (3) 経理規定に係るルールづくりの検討、改定(7月)
- (4) 第4回グループ わ スキルアップ講座の検討、具体化(10月、12月~1月)
- (5) H21年度グループ わ P R対策と新会員勧誘対策の検討・具体化(10月、12月

~1月)

- (6) イベント事業実施計画の見直しと対応検討(11月~12月)
- (7) 表彰制度の検討と制度発足の具体化(9月、1月~3月)

3. 新規事業案件検討の取組み

- (1) 長田区二葉小旧校舎活用事業 随時関係先と協議中。
- (2) リサイクル工房あずま管理運営委託事業 応募したが、採用されず。
- (3) 環境局グリーンカーテン事業・小規模通所介護施設への訪問ボランティア事業 関係先から検討取り下げ。

4. 諸規定・規程類の見直し・新規制定の取組み

- (1) 見直し・改定 運営委員会規約(4月)
- (2) 新規制定
 - ① ロゴマークの取扱要領(6月)
 - ② 規程管理規定(1月)
 - ③ 総会議事運営規程(2月)
 - ④ 表彰規定(H22年度表彰要領)(2月~3月)
 - ⑤ 個人情報保護規程(2月~3月)
 - ⑥ 文書管理規定(2月~3月)

【区会活性化推進委員会】取組み報告

企画担当理事 国際11期 長谷川 洸士

1. 区会活性化推進委員会の編成と発足(第1回、6月)

本部役員(7名)と全区会長(9名)から成る「区会活性化推進委員会」を発足させ、毎月運営委員会後、活性化推進に向け集中審議する体制をスタート。

2. 区会運営の問題点洗い出しと打開策検討(第1~3回、6月~9月)

理想に走りすぎないで、地についた実態改善策を探っていく基本姿勢を申し合わせ、区会運営の問題点洗い出し作業とフリートーキングを重ねた。

(前頁より続く)

(1) 区会運営の問題点(まとめ)

- ①高齢化が進み、新規区会活動参加者が少なくなった。
- ②区会の組織化が進んでいない。(運営体制脆弱化、区会員との情報連携不足)
- ③現役ボランティア組織との交流、連携体制が弱い。

(2) 打開策(まとめ)

- ①会員への区会活動に関する意識調査。
- ②会員の区会参加率向上策の検討。
- ③会員相互の交流・意思疎通対策検討
- ④区会運営方針明確化、運営ノウハウの整備
- ⑤在校生への区会活動PR対策検討

3. 区会活性化推進のための実態調査実施 (第4回~7回、8月~12月)

以上の具体策実施にあたり、次の実態調査を企画し、逐次実施。

(1) 区会組織運営体制調査

全区会を対象に区会運営スタッフ、組

織運営状況(定例会議開催状況、会員への連絡方法、会員との親睦交流行事、ボランティア活動取組みなど)を実態調査。

(2) 全会員への区会活動に関するアンケート調査(8月~12月)

全会員を対象に「区会活動への参加状況」「ボランティア活動協力状況」「新規ボランティア依頼を受けた際の協力可否・希望活動内容」など意識調査し、分析。

4. 各区会独自の活性化対策立案と区会運営ノウハウ共有化

(1) 各区会独自の活性化対策立案(1月~2月)

以上のアンケート調査結果に基づき、各区独自に課題を整理し具体策を立案。

(2) 「区会運営マニュアル」の整備(3月)

全区会が共有化すべき「運営ノウハウ」を集中審議し、これらを整理して「区会運営マニュアル」を作成。

季節の草花

カラスノエンドウ(烏野豌豆)

生環8期 久保 知彦

春先には、オオイヌノフグリやハコベ、ヒメオドリコソウなどに続いて、この花が姿を現します。マメ科の植物で、長さ30~90cm、葉は10個内外の小葉からなる葉をつけ、葉先の1~3個の小葉は巻きひげとなり他物にからみつきます。そして葉の基部に赤紫の花(蝶形花)をつけます。やがて小さなさやに5~10個の種子ができます。熟したさやは黒くなり2片に裂けて種子をはじきだします。若葉は食用になります。豆のほうも食べられるようです。

ひとまわり小さいもので、スズメノエンドウがあります。豆果にはふつう2個の種子が入っています。また、この中間のもので、カスマグサというのがあります。名前の由来は、カラスとスズメの間(カとスの間)ということです。種子は3~5個。まきひげが枝分かれし

ないので区別がつく。

植物の名前には、カラスとかスズメ、イヌ、ヒメ、ミヤマなどをつけて、類似した種類を区別しています。命名には苦労するのですが、粋な名前のもものもあります。中には可哀想な名前をもらっているものもありますね。

花言葉 「小さな恋人達」



東灘区会

フルトッフ ⇒ 感謝、感激、感動
⇒ 車椅子

国際7期 白岩 信義

東灘区会が“フルトッフ集めて贈ろう車椅子”をモットーに朝日新聞社（ASA）のキャンペーンに参加して4年余り、グループわ事務所にボトルの設置をお願いし、わ会員のみならず、現役学生、グループ外の方々にも広く呼び掛け、平成22年2月末で170本(2リットルペットボトル)をお陰様で集める事が出来ました。ご協力頂いた皆様に感謝!! 感謝!! 感謝!!

さて瓢箪から駒のような話で、車椅子の贈呈が出来ました。東灘区会で書道、歌唱指導で開設当初より関与している「サンライフ魚崎」がこの3月で10周年を迎える事を聞き、私たちの集めた量ではとても無理なのを承知で車椅子1台を贈れないものかとASAに頼みました。現状では難しいとのこと。現時点の相場では800本の2リットルペットボトルで車椅子1台購入できるとのことでした。諦めていたところASAから「社内で検討の結果今回特別に1台贈呈します」との返事、思わずヤッタと大感激!! 大感激!!

贈呈が決まれば出来るだけ早い方がよいだろうと、2月8日にサンライフ魚崎で贈呈式が行われました。また当日同ホーム職員が集めていた大量のフルトッフ20本分をASAに直接手渡すハプニングもありました。最後に挨拶をしながらASAの特別な計らいに感謝し、この4年間量の多少にかかわらずフルトッフをお持ちいただいた一人一人の顔が目に浮かび温かいご協力の賜物と思わず目頭がジーンと感動!!

今後とも旧来に増して出来るだけ多くの方の更なるご協力のほどお願い申し上げます。



車椅子贈呈式

[前頁へ](#)

須磨区会

すべてはこれから

須磨区会長 福祉3期 細野恵久

前号(49号)に、須磨区会では区会に参加したことがない人の割合が他の区会に比べて高いこと、またその理由に忙しい、活動への誘いが無い、を挙げた割合も突出していることが報じられました。昨年秋に行われた区会に関する全会員アンケートの結果を要約した記事です。

須磨区会の現状は確かにそのとおりです。私は昨年末、前任の佐々信義氏から区会長を引き継ぎ、この問題に向き合うことになりました。しかし私は深刻に考えていません。アンケートをよく読むと、大方の会員は決して地域活動に関心がないわけではなく、自分に適した活動であれば参加してもよいと考えていることが判ってきたからです。

ただ区会からの呼びかけが不足していることは否めません。そこで「須磨区会だより」を発刊することを決め、1月に「第1号」を出しました。これには全会員の校區別、卒業期別の分布表を載せ、互いに知り合うきっかけにしました。

次の「第2号」には「須磨区会第1回総会」の開催案内を載せ、今月出します。なんだ、須磨区会はまだそんな段階なのかと笑われそうですが、いいんです。すべてはこれからです。



須磨海岸での清掃活動

[次頁へ](#)

北 区 会

「私のボランティア活動」

国際12期 飯川泰郎

私は、現在、自宅近くの幹線道路で、北五葉小学校児童の通学を見守るため朝の立番活動をしています。私が、この活動を始めたきっかけは、シルバーカレッジで、色々なボランティア活動の事を知り、「これなら自分にも出来る」と思ったからです。

当初は、子供達に挨拶をしても「この人何だろう？」と、表情が硬かったのですが、今では、児童からも挨拶され、先生方や、父兄の皆様からも、感謝され、活動の悦びを感じています。

時には持病の腰痛のため、辛いこともありますが、通学する子供達の明るい笑顔を見、また、元気に挨拶を交わすことで、彼らからパワーを貰い楽しく頑張っています。

今、唯一の悩みは、この活動が当北五葉地域では“私だけ”と言う現状です。今後は、一人でも多くの方に、子供たちの通学を見守って頂きたいと願っています。朝30分位です。ご自宅近くの通学路で結構ですので「やってみよう！」と思われる方は、ぜひ参加をお願いします。

北五葉小学校の見守りについてのお問い合わせは、わたしにお願いします、

連絡の電話番号は592-2803です。



北五葉小学校の見守り活動

谷上パソコン講座

国際7期 牧田 譲

H21年3月末に、「北区谷上ふれあいまちづくり協議会」よりパソコン教室指導員派遣の依頼を受け、わ北区役員会にて受託を決定し担当者が決まった。6月より3回ほど先方と打合せの上、月2回で合計13回コース、PC 7台+受講者用PCで9月から実施と決定。結局、谷上側では“Vista” 7台と“Windows7” 13台のPC購入及びプリンターとプロジェクターを準備した。募集の結果、30名の受講者で初日を迎えた。10月23日。PC全くの初心者が半数近いと思った。私と川岸氏が講師または指導員、佐伯氏が指導員の分担で開始。13回コースなので、PCの基礎関係を2.5回、WORD2007を3.5回、EXCEL2007を4回、IN-NET &メールを2回、デジカメ（谷上側上畑氏担当）1回。予備で「地図付き招待状」作成（上畑氏担当）と「年賀状作成」各1回を実施。授業は1回2時間で、最初15分は質問で残りを講義とし、開始前30分は希望者の質問を受けた。毎回レジュ

メを用意し教科書も利用し講義の理解度を深めた。3回目位から受講者が減り始め20名に確定。受講者は熱心でよく勉強されたと思うが、強いて言えば時間が5回ほど更に必要だと感じた。H22年度は5月より月2回で全14回コースで実施予定。現在受講者募集中である。



環境部会

環境部会長 生環11期 菅田 忠志

「ケナフ炭焼き・紙すき親子教室」

ケナフの会 生環9期 長谷川 博

2月最後の日曜日28日は天気恵まれ、関係者しかいないカレッジでのびのびとグループ「わ」主催「ケナフ炭焼き・紙すき教室」を開催しました。当日に3組の欠席がありましたが6組24人の参加があり、スタッフも同人数で楽しい1日を過ごしました。

午前には炉より「竹炭」の取出し、炉に「竹」の挿入、着火、炭の説明、午後はケナフの説明、ハガキ・葉を各人1枚ずつ漉き、押し花で各人特徴ある飾り付けをし、初めて使うアイロンで乾燥して、大事に持ち帰っていただきました。

振り返りシートには全員が紙すき等が楽しかったと。温暖化の事、炭の脱臭、浄水の事などが理解出来たともシートに記入されていました。お土産の「竹炭」と「満足感」を一緒に持ち帰っていただけたと思っています。



炭焼き



ケナフ紙すき（ハガキと葉）

春の足踏み ー雪の六甲を楽しむー

森の仲間代表 生環11期 菅田 忠志

弥生3月、春本番到来の季節。しかし、昔から関西の春の訪れは「奈良二月堂のお水取り」が終わらないとやって来ないと言われてきた。しかし、近年の暖冬異変から、そのことばのニュアンスも少しずつほころびはじめてきたようにも思える。

そんな中でも、毎年一度か二度は六甲山でも雪化粧をして、山歩き好きの我々をワクワクさせてくれる。今年も3月10日に今年2度目のその日がやってきた。太平洋沿岸を発達しながら東進する低気圧。この典型的な春先の気圧配置に六甲・摩耶の山上は15cmくらいの積雪をして迎えてくれた。春の気分が漂っていたここ数日、一変しての雪山に、『六甲の春の足踏み』を体感した活動日となった。



雪の六甲ノースロード



摩耶山杣谷峠付近

ー「いたちごっこ」でイタチに連敗中ですー

「野鳥と自然観察会」代表 生環11期 茅中 英一

5年前、村の各自然歩道の山間部に設置した50箱余の巣箱がヘビ、イタチ、カラス等に襲撃されるケースが増えて来ました。そして私達の高齢化もあり山間部での観察やメンテ等の作業が少しずつ困難になって来ました。そこで作業も楽になり、人間の往来がある駐車場周辺なれば、野鳥にとっても外敵からの抑止効果もあるのでと期待して、一昨年から巣箱を山間部から徐々に村内の駐車場周辺に移設しました。移設後の駐車場周辺での昨春の利用結果は良好でした。私達はスズメやツバメのようにヤマガラ達も私達人間の近くが安全と思ったのではと勝手な想像をしていました。現在はまだ被害がP2駐車場だけですがイタチの襲撃が増加し続けると、過去4年間

毎年160-180羽のヒナの巣立ち実績が今年には危ぶまれる状況です。(ヒナの1年生存率は10%未満と厳しい)

生物多様性のなかでの食物連鎖である程度のイタチの襲撃も止むをえませんが、今回のように巣箱が軒並み襲撃されるようになると、これ以上イタチに負け続ける訳にはいきません。知恵比べです。何方か良いお知恵はありませんか。



イタチに齧られる前(左)と齧られた後(右)の巣箱

わいず倶楽部との交流に思う

神戸ホテルの会 会長 生環9期 堤 健



3月10日に、読売新聞に事務局を持つ55歳以上の会員組織「わいず倶楽部」の「蛍プロジェクト」のメンバーとタンポポの会議室で交流会を実施しました。

彼らは、過去1年間各地のほたるを育てている組織から情報を収集、今後大阪市に蛍を飛ばすことを目標に準備中とのことでした。今、大阪城公園に飛ばせればと交渉を進めようとしていました。もし、5年程度で飛ばすことが出来れば大成功だと頑張っていました。

彼らの動きを見て、私共も活動の歴史が思い出されました。もう7年経過、昨年は日本庭園で6月6日に過去最高の136匹のゲンジボタルの飛翔を確認できました。後は、自然生育で、毎年飛翔を見ることが出来れば成功です。子供たちと一緒に自然学習を出来ることとなります。しかし、今年は、飼育に失敗、写真のように3匹しか育てることが、出来ませんでした。ただ、昨年日本庭園で飛翔した蛍が育って、30%程度は飛翔することが過去の経験から予想で

きます。即ち40匹程度は飛ぶことが予想されます。6月に予定されている「菖蒲まつり」の夜間ライトアップ時に、一緒に観察できることを期待して、カワニナの供給に余念がない昨今です。

私共の活動は、「神戸ホテルの会」のホームページに詳しく載せてあります。是非確認ください。わいず倶楽部のメンバーもこのページを見て連絡してきました。

<http://www.us3.jp/souryu/hotaru/>



ホテルの幼虫

ビオトープの掻掘(カイボリ)

生環6期 豊永 哲三

平成7年にできた自然観察園(ビオトープ)は15年を経て、水質の悪化(富栄養化、酸性化)に伴い水性生物が減少してきました。現状は、数年前に「アメリカザリガニ」が入ったため、一言でいうと「ザリガニの池」になってしまいました。インターネットで、「ザリガニ駆除」を検索してみると全国の多くのビオトープが「ザリガニ駆除」のため、苦勞している様子がわかります。

一昨年「もんどり」の投入、ザリガニ釣りによるザリガニ駆除を続けて来ましたが、先ずは池の中を調べるために掻堀をすることとしました。

3月18日 緑地課7名、会員9名が参加、思った以上のヘドロで、こうべ市民振興協会緑地課の方々には大変なご苦勞をおかけしましたが、結果、池の中の様子がよくわかる様になりました。なお、葦の根元にいるザリガニ駆除の準備として葦狩りも行いました。池の中からザリガニ以外にはメダカと沼エビが見つかりました。

今後は観察を続けながら一層ザリガニ駆除に努力し、ビオトープの再建に取り組みます。後日、緑地課から「カイボリ作業おつ

かれさまでした。今後の経過観察がいい方向に向けばと願っています。」とのコメントをいただきました。

ありがとうございました。



自然観察園(ビオトープ)



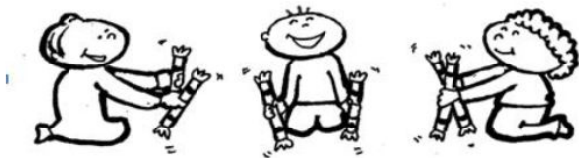
掻掘(カイボリ)作業



銭太鼓同好会 男女部員募集！！

今からでも遅くはありません。

一年後のデビューを目標に、ゆっくりと楽しみながら、基礎からお稽古をしてゆきます。



70才未満の、初心者大歓迎

お問合せは Tel&Fax 881-7216 井上 善道
わ文化部 銭太鼓同好会：カレッジで創部以来13年
現在カレッジOB 5名、一般市民 9名の構成です

混声合唱団コーロKSCよりのお知らせ

グループわ 文化部 コーロKSC
代表 音文10期 寄藤 忠彦

第6回コーロKSC定期演奏会

2010年10月20日(水)
神戸文化ホール 中ホール
開演 18:00 開演
< 入場無料 >

賛助出演：KSC男声合唱団

平成22年度 イベント 一覧表 (4月～8月)

| 開催月日 | タイトル (場所) | 内 容 |
|-----------------------|----------------------------------|--|
| 4月29日 (木) | 昔あそび (水の科学博物館) | かつては普通の遊びとしていた昔遊びを再現する |
| 5月1日 (土) | 昔あそび (水の科学博物館) | 同上 |
| 5月3日 (月) | 一寸奉仕 (南京玉すだれ・動物風船) (水の科学博物館) | 大道芸の名演技が楽しめ、風船で動物作りして遊ぼう! |
| 5月5日 (水) | しあわせの村・わんわんストリート (しあわせの村芝生広場) | 子供の日親子で昔あそびの数々楽しみましょう。 |
| 5月29日 (土) 「エコスクール」 | 第2回春の昆虫調査大作戦 (神戸環境未来館) | 啓蒙後に現れる昆虫どんな種類かな? |
| 6月12日 (土) | 第3回 工場で自然を楽しもう キリンビール神戸工場 | キリンビールパーク神戸で楽しいエコ体験をしよう。 |
| 6月24日 (木) | 森林浴ウォーキング | 新緑に賑わう六甲山を散策して、健康保持。 |
| 7月4日 (日) | 七夕まつり (フルーツフラワーパーク) | 子供たちに七夕笹飾りや七夕にちなんだ紙芝居をする |
| 7月11日 (日) | 植物採集と標本作り (しあわせの村) | しあわせの村にある多種の植物を知り、標本作りにチャレンジしよう。 |
| 7月25日 (日) | 須磨海岸で遊ぼう! (須磨一谷プラザ) | 海の植物 (海藻) 貝殻類の勉強、海岸に漂流してくるゴミなど拾い汚染度を知り海の環境問題を学習。 |
| 7月27日 (火) 「エコスクール」 | 第4回工場でエコを見つけよう (森永乳業神戸工場) | 工場見学して、企業が取り組んでいる環境対策とエコクッキング教室! |
| 7月31日 (土) | しあわせの村祭り (しあわせの村) | 村挙げて一番のイベントいろいろの遊びにチャレンジしよう! |
| 7月31日 (土) | 第5回理科研究に大活躍! 水を知る実験教室 | 水の大切さと新しいエネルギーを学ぼう。 |
| 8月1日 (日) | 夏休み工作教室 (フルーツフラワーパーク) | 夏休みの宿題にピッタリ工作教室の指導 |
| 8月1日～16日 | 水の科学博物館夏のイベント | 日替わりで、ケナフでしおりを作り昔遊びで紙風船、ふんぶんコマ楽しめる催事 |
| 8月8日 (日) | 夏休み出来たかな! 工作塾 (しあわせの村・研線館) | その場で教わるいろいろな作品を工作塾で指導します |
| 8月8日 (日) | かえっこバザール (神戸シルレ・カレッジ内) | 「もったいない」の精神。家庭で使わなくなったおもちゃの交換会 |
| 8月22日 (日) 「エコスクール」 | 第6回小学生の夏休み宿題お助け隊 (神戸環境未来館) | 自由工作を身近な材料で作しましょう! |
| 8月23日 (月)～ 27日 (金) | 日本の伝統文化講座 (国際パソソ協会・催事場) | 国際免疫学会国際会議に参加170カ国、の同伴ご家族に日本伝承文化5講座開催。 |

22年度前期パソコン講座のご案内

代表 国際6期 朝日 照夫

下記要領にて、在校生向けのパソコン講座を行ないます。各コースとも10日間で定員は20名です。欠員がある場合、OB生も受け付けます。詳細は募集案内をご参照下さい。

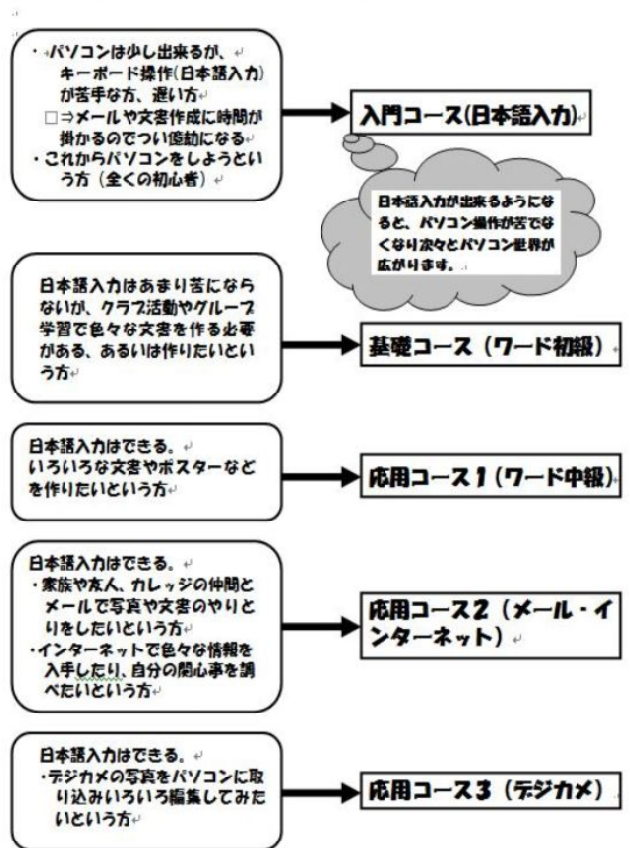
- 入門コース ; 5/7～5/21 (除く土・日・5/20)
- 基礎コース ; 5/24～6/14 (毎週 : 月・火・水)
- 応用コース1 ; 6/21～7/12 (毎週 : 月・火・水)
- 応用コース2 ; 5/28～7/30 (毎週 : 金)
- 応用コース3 ; 5/27～7/29 (毎週 : 金)

編集後記

平成22年度が始まり、わ本部では新旧の理事の業務引継ぎとともに、5月20日の総会に向けての準備作業で大童 (おおわらわ) である。この1年間「情報ぎゃらりー」の編集作業を担当して、毎号とも時間に追われ、なんとなく中途半端な内容になり、申し訳なく思っています。

「情報ぎゃらりー」は本部・区会・部会の活動を幅広く会員の皆様に知らせることと、他の部署の活動内容を知ることで、もう一度自分たちの活動を見つめ直すのに絶好の場であることは言うまでもありません。さらに、より良い情報誌を作るためにアンケートをとることになりました。

パソコン講座 コース選択のガイド



会員の皆さんの生の声をお待ちしています。次号からは、新しい編集者の下で作成されます。引き続きよろしくお願ひします。See you again!

(広報担当 国際12期 今田 紘)